患者の皆さまへ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)

この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

尚、研究又は他の研究機関への患者さんのデータ提供は、研究実施許可日から研究終了日の期間に行います。

記

研究機関名	市立豊中病院
研究実施許可日	2025年 1月17日
研究終了日	2026年 3月31日 まで
研究の名称	悪性食道狭窄および瘻孔に対する金属ステント留置の有効性とステント閉塞リスクの検討
研究対象	市立豊中病院で2009年2月から2024年2月の間に食道悪性狭窄または食道瘻孔に対し食道に金属ステント(Self-Expandable Metallic Stent)留置を行った患者さん
対象材料	診療記録
対象期間	2009年2月から2024年2月
研究の目的意義	現在、悪性食道狭窄や食道の瘻孔に対し金属ステントの留置は低侵襲で有効な治療として広く普及し、その適応や安全性は一定の水準で確立していますが、化学療法 of 進歩により、ステント留置後の長期生存も期待できるようになり、それに伴い晩期合併症の発症も懸念する必要があるため、当院における食道ステント留置の治療成績と留置後合併症の実態を明らかにすることを目的としています。
方法	当院で2009年2月から2024年2月の間に食道悪性狭窄または食道瘻孔に対し食道ステントを留置した患者様の病態・治療前後の経過・その後の合併症有無などを後方視的にデータ集積し、食道ステント留置患者における治療成績と合併症の頻度を検証します。
個人情報の取り扱い	本研究のデータは、研究目的の達成に必要な範囲を超えて取り扱わず、安全に管理します。研究結果から個人が特定されることはありません。
問い合わせ先 (研究責任者)	市立豊中病院 06-6843-0101(代表) 消化器内科 中松大